

山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業

yamagata yori-i プロジェクト

第10弾

企業を通して地域や社会を結ぶAIプラットフォーム

「株式会社Ciel^{シエル}」 設立記者発表

チーフコーディネーター

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター

センター長 教授 小野寺 忠司

令和6年1月22日 11時～12時

@スタートアップステーション・ジョージ山形（山形市）



過去から本質を理解して、
未来のあるべき姿に向かって
創造し行動することで、
最上から日本や世界を良くしていく

これまでの実績 01

第1弾

(令和4年8月31日記者発表)

一般社団法人 最上イノベーションエクスキュート

アジェンダ：人
解決する課題：教育サービス不足への対応

【参画企業】

株式会社JPD、株式会社ヤマムラ、
学校法人新庄学園

【目的】

- ① 中高生のアントレプレナーシップ（起業家精神）の醸成
- ② 論理コミュニケーション力を身につける場の提供
- ③ イノベーションをもたらす新たな価値を創出するための思考・行動要素を持つ人材の育成



第2弾

(令和4年9月30日記者発表)

最上地域 早生桐産業創造プロジェクト

アジェンダ：環境保全、産業
解決する課題：森林資源減少の抑制

【参画企業】

株式会社佐藤運送、
有限会社グリーンバレー 等

【目的】

杉に比べて成長の早さが10倍、二酸化炭素の吸収量が5倍の早生桐の森林造成を通じ、

- ① 荒廃地の再利用等による環境の保全
- ② 桐材の商品化等による地域林業の再構築を目指す。



2年目の早生桐
直径14cm



5月植栽の早生桐
人物は身長170cm

第3弾

(令和4年11月14日記者発表)

「大学食堂おいしい山形」プロジェクト

アジェンダ：人、産業
解決する課題：交流人口拡大、所得向上

【参画企業】

一般社団法人スマートニッチ応援団

【目的】

首都圏の学生が最上地域の食材をふんだんに使う「学生食堂」を東京都内に開設し、そこで最上エリアの地域資源をPRすることにより、最上地域の持つ価値の再構築と山形ファンづくりを行う。



これまでの実績 02

第4弾

(令和5年6月20日記者発表)

「共創の拠点」をつくる 「サイヒロコプログラム」

アジェンダ：環境保全
解決する課題：若者流出、DX技術の向上

【参画企業】

一般社団法人SAI
東日本電信電話株式会社
エヌ・ティ・ティコミュニケーションズ
株式会社

【目的】

世界的な環境アーティストであるサイヒロコ氏からアート思考を学びつつ、氏の作品と親和性の高いデジタル技術を活用してメタバース山形県をつくり、その中で自分がやりたいことに挑戦することを通して、起業・創業のアイデアを見つけ出すことを目指す。



第5弾

(令和5年7月11日記者発表)

合同会社 Circular Thanks

アジェンダ：健康
解決する課題：地元食材を活用した健康増進、「食」を通じた魅力発信

【参画企業】

合同会社 Circular Thanks

【目的】

最上地域の伝承野菜や山菜など、健康機能を持つ素材を活用し、ストレス社会における美容と健康に関する問題解決に挑むとともに、「食」を通して山形県全体の魅力を発信する。



第6弾

(令和5年7月18日記者発表)

株式会社 リンクス

アジェンダ：健康
解決する課題：スポーツを通じた人々の健康増進

【参画企業】

株式会社 リンクス
新庄商工会議所

【目的】

スポーツを通じて住民の体力向上や健康寿命の増進を図る。また、全国でも珍しい「会社が運営する総合型地域スポーツクラブ」を目指す。



これまでの実績 03

第7弾

(令和5年8月8日記者発表)

「**金山町・神室の自然に触れるアクティビティ**」
“**道楽 神室ベース**”立ち上げ

アジェンダ：環境保全
解決する課題：自然体験、交流人口創出

【参画企業】
道楽 株式会社
株式会社Be-Ryu

【目的】
町内外の若者をメインターゲットとし、グリーンバレー神室の豊かな自然環境を活用した自然アクティビティを提供。
自然体験を通して、もっと自然に触れ、自然の大切さを学び、地域の環境保全に結びついていくことをめざして事業を展開。



第8弾

(令和5年10月31日記者発表)

移住者と遊休不動産を繋げる
「**空き家・移住アソシエーション**」

アジェンダ：人
解決する課題：移住者支援・空き家対策

【参画企業】
RoomruBe、県内不動産事業者、
地域の起業家

【目的】
空き家が住めなくなる状態になる前に県外からの移住者など必要な人に流通させるエコシステムを構築する。
推進組織を設立することで、情報取集力と発信力を高める。



第9弾

(令和5年11月28日記者発表)

”服“の力で地域に”幸福 (well-being) “を
一般社団法人 **Fuku-Well** 設立

アジェンダ：健康
解決する課題：衣服を通じた健康問題の
解決とwell-beingの促進

【参画企業】
医療法人慈心会 井出眼科病院
新庄商工会議所

【目的】
高齢・障がい・病気などを理由に、衣服の着脱等に不便や難しさを抱える方の自立を支援しつつ、着ることの楽しみや出かけることの後押しによりWell-beingを叶えることを目指す。



企業を通して地域や社会を学ぶAIプラットフォーム

「株式会社 ^{シエル}Ciel」 設立

アジェンダ 人・健康

解決する課題

- 高校生のキャリア形成に寄与することを目的とした、最新の生成系AI技術による企業情報の提供
- 高校生が離職する大きな理由の一つである「ミスマッチによる強度な心身ストレス」の解消

- テーマリーダーの村上和隆氏は山形大学大学院 理工学研究科（理学系） 数理科学専攻の院生
- yori-i project ではデータアナリストとしてモデルエリアのデータ分析を担当しアジェンダを取りまとめた
- ある県内高校を訪問した際膨大な求人票を目にし、高校生の就職活動は大学生のように大手SaaSを使えないことに違和感を持ち、自身で調べていく中で、高校生を対象とした独自の就活システムは多くの問題を抱えていることに気がついた
- 大学院での大規模自然言語処理モデルの研究を行う過程で得た知見をもとにその問題を解決できるのではないかと思いあたり、コーディネーターとして参加しているyori-i project内で事業化に向け検討を開始
- コンセプト検証等を通し、就職意志の有無に関わらず、社会の重要な構成要素である企業を知ることは将来的なキャリア形成にとっても重要であることから、企業を通して地域や社会を結ぶAIプラットフォームを提供する新会社を設立することとなった

まとめ

150の
ボードメンバー



約30の
ビジネスアイデア

地域課題の解決 と 起業家の創出

- 生産性、付加価値を高めることにより、人口が減っても収益は減らない（生活レベルが下がらない）地域をつくる
- 新たな存在価値・意義に基づくビジネスを創出し、利益を生み出すエコシステムにより経済効果を上げていく

今後の記者会見予定

2月9日（金）

14時から15時30分 @ 鮭川村役場（予定）

テーマ：地域産農産物・バイオマス資源の畜産飼料の活用による域内循環プロジェクト

リーダー：（株）アルファテック

2月13日（水）

10時から11時 @ 金山町農村環境改善センター

テーマ：早生樹ヤマトダマの栽培によるバイオマス資源の確保

リーダー：（株）オウルテス